

千葉市政担当記者 様

平成22年12月24日
市民局生活文化部文化振興課
電話 245-5261
内線 2521

第9回千葉市芸術文化新人賞 受賞者の決定について

千葉市では、「千葉市芸術文化新人賞」を設け、将来の活躍が期待される新進気鋭の芸術家を表彰しています。第9回となる今年度は、様々な分野から、35件の個性豊かな候補者の推薦が寄せられました。

また、今年度から新たに「奨励賞」を設け、その活動が奨励に値し、今後の活躍が見込め、千葉市の芸術文化の振興に寄与することが期待できる方を賞することとしました。

この度、新人賞2件、奨励賞2件、合計4件の受賞者を決定しましたのでお知らせします。

1 目的

千葉市にゆかりがあり、将来の活躍が期待される新進気鋭の芸術家を賞することにより、「千葉文化を担う人づくり」を推進し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的としています。

2 受賞者及び受賞理由（五十音順・敬称略） ※ 受賞者プロフィールは別添

（1）新人賞 2件

おかもと たくや
岡本 拓也（クラシックギター奏者） 18歳 千葉市在学・浦安市在住

全国的なコンクールで最優秀賞を受賞するなど、実力が高く評価されており、郷愁に満ちた美しい音色とリズムが曲をイメージさせ、音楽性の豊かさが感じられる。

クラシックギタリストという将来の夢に向かって取り組む姿勢に、今後の更なる成長が期待できる。技術的にも、将来的にも本賞に相応しい。

やまぎし つとむ
山岸 努（ヴァイオリニスト） 24歳 千葉市花見川区在住

優れた演奏技術、スマートな演奏スタイルを備えており、品格のある澄んだ音色は、聴く人の心に強く響く。今後さらに伸びる可能性がある。

千葉市内のホールでの演奏活動も積極的に始められ、千葉市の音楽文化の発展に今後ますます貢献していくことが期待される。

（2）奨励賞（新設） 2件

さいとう けいこ
齋藤 圭子（漫画家・絵本作家） 36歳 千葉市若葉区在住

おおらかで柔らかく可愛らしい画風は、人の心をおだやかにしてくれる。

地元千葉市に密着した活動とあわせ、国際的な視点を有する絵本を出版するなど、これからの芸術文化の振興に期待できる。奨励賞受賞をきっかけに、このジャンルで活動する芸術家の裾野の広がりを期待したい。

カメラワーク、照明ともにレベルが高く、学生が卒業とともに、メンバーが変わっていく中で、高いレベルを保ちながら活動を続けていることは評価に値する。

高度な撮影技術で制作された作品は、様々な映像コンテストにおいても高い評価を得ている。全県的な映像制作の拠点のひとつとなっており、今後継続して、地域の映像分野の活性化に寄与していくことが期待できる。

3 「第9回千葉市芸術文化新人賞」の概要

(1) 受賞候補者推薦受付期間

平成22年6月1日(火)～8月31日(火)

(2) 対象

下記すべてを満たす個人又は団体

- ・音楽、演劇、舞踊、美術、文芸等の芸術文化の分野において活動を展開していること
- ・おおむね5年以上にわたる活動歴があること
- ・本市出身、在住もしくは活動拠点を置くなど本市にゆかりのあること

(3) 候補者数

35件(音楽18件、演劇1件、舞踊2件、美術9件、文芸2件、その他3件)

(4) 選考方法

学識経験者等で構成する千葉市芸術文化新人賞選考委員会(委員長 五味文彦 放送大学教授・東京大学名誉教授)による審議を経て決定しました。

(5) 選考基準

新人賞：今後全国的な水準での活躍が見込め、本市の芸術文化の振興に寄与することを期待できるもの

奨励賞：活動が奨励に値し、今後の活躍が見込め、本市の芸術文化の振興に寄与することを期待できるもの

4 授賞式

1月中旬に予定しています。詳細が決まりましたら、お知らせします。

5 受賞後のフォローアップ

市で実施する文化事業への参加を呼びかけるなど、受賞者の活躍の場づくりに積極的に協力します。

6 過去の受賞者

第1回(平成14年度)から第8回(平成21年度)までの総受賞者は21人で、それぞれの分野でご活躍されています。